

ミニディスクロージャー誌

地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行

第87期 営業の中間ご報告

平成22年4月1日から
平成22年9月30日まで

地域に根差し お客さまに選ばれ続ける銀行



頭取 佐藤 清一郎

皆さま方には、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。
このたび、当行の平成22年度中間期の業績と現況などについてご説明した「ミニディスクロージャー誌／第87期営業の中間ご報告」を作成いたしました。本誌を通じて、私どもに対するご理解をより深めていただければ幸いです。

当行は「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」を目指して、平成21年4月より「中期経営計画2009」に取り組んでおります。

本計画では、お客さまのご相談やご要望等に従来以上に的確に対応し期待にお応えできる人材の育成に努めているほか、店舗・店舗外ATMの新設・見直しやインターネットバンキングの時間延長など、お客さまの利便性向上のための諸施策を実施いたしております。また、本年7月にはお客さまの多様化するビジネスニーズに迅速かつ的確に対応できるよう本部機構の見直しを実施しました。この見直しによりお客さまの課題解決を推進する部署としてのソリューション事業室を「ソリューション事業部」に昇格させたほか、地域の国際化の進展に対応するため証券国際部内に「国際室」を、お客さまの事業再生・経営改善のお手伝いを強化するため融資部内に「経営サポート室」をそれぞれ新設しております。

さらに、9月には日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給（新貸出制度）」の趣旨に基づき、地元の成長分野に向けた貸出をより一層強化し地域経済の発展に貢献するために、総額100億円の「ちくぎん成長基盤支援ファンド」を創設いたしました。

3か年の中期経営計画も半ばを過ぎましたが、当行は本計画の達成に全力で取り組み、地域の銀行として皆さまのお役に立ち、さらに信頼される銀行となることを目指してまいります。

引き続き一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

目次

ごあいさつ	1	トピックス	13
経営方針	2	お客さまへの大切なお知らせ	14
決算の概況	3	財務のご報告(連結)	15
当行の健全性	5	財務のご報告(単体)	16
地域経済・地域社会への貢献	7	役員／株式の状況	17
皆さまのお取引状況	7	株式のご案内	18
地域金融機関としての役割	9	店舗・ATMのご案内	裏表紙
地域への各種支援活動の状況	10		
商品／サービスのご案内	11		
法人のお客さま	11		
個人のお客さま	12		

筑邦銀行のプロフィール (平成22年9月30日現在)

設 立	昭和27年12月23日
総 資 産	6,164億円
預金・譲渡性預金	5,729億円
貸 出 金	3,853億円
資 本 金	80億円
株 主 数	3,024名
従 業 員 数	667名
店 舗 数	42か店

基本理念

「地域社会へのご奉仕」

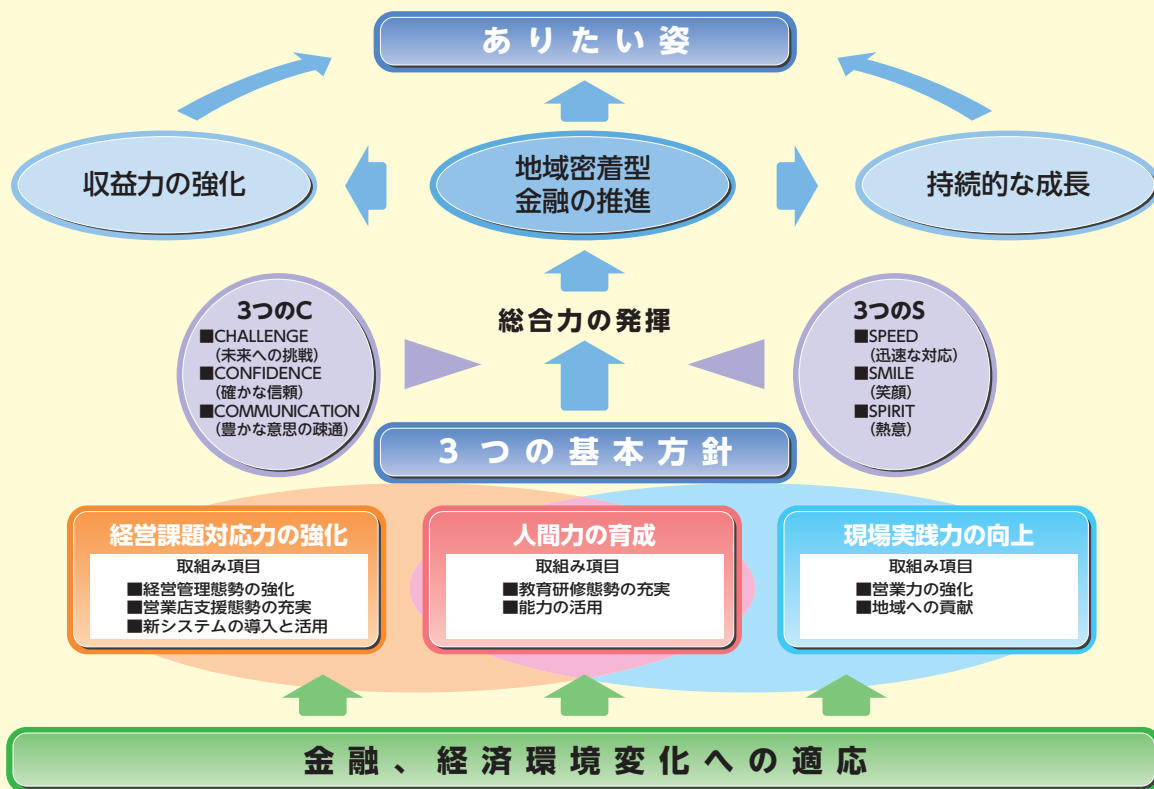
当行は、昭和27年の創立以来、一貫して「地域社会へのご奉仕」という基本理念のもと、地元のお役に立つことが何にもまして重要な社会的使命と考え、地域の発展とともに今日の基盤を築いてまいりました。今後も地元の銀行として、この経営方針を堅持してまいります。

中期経営計画2009

(2009年4月～2012年3月)

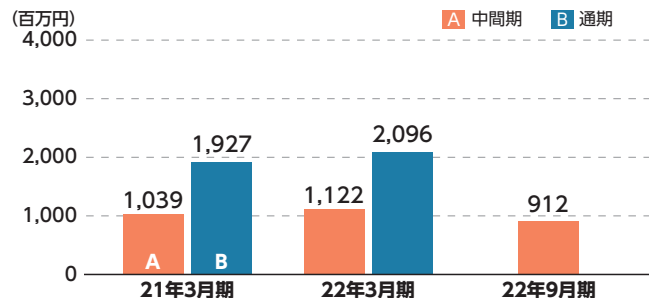
ありたい姿 ▶ 「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」

中期経営計画の全体スキーム

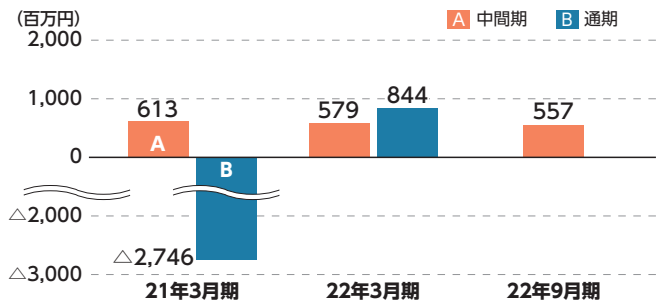


収益の状況

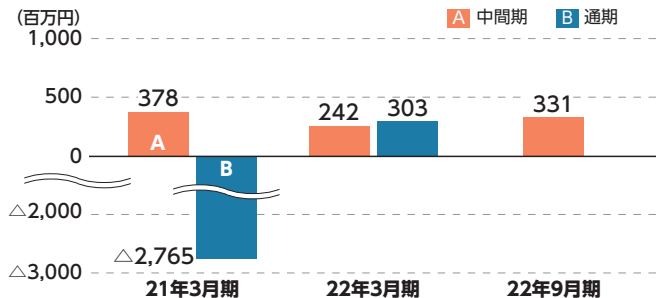
業務純益(単体)



経常利益(単体)



中間(当期)純利益(単体)



用語解説

- 1.業務純益とは** 銀行の利益を見るうえでの重要な指標で、預金・貸出金等銀行本来の業務から生まれた利益。一般企業の「営業利益」に相当します。
- 2.経常利益とは** 業務純益に貸出金償却等の臨時損益を加減算したものです。
- 3.当期純利益とは** 経常利益に特別損益と税金等を加減算したもので、銀行が事業年度中に得た最終利益です。

業務純益

業務純益は、預金利回りの低下により資金調達費用が減少したものの、資金運用利回りの低下により資金運用収益が減少したことに加え、営業経費が増加したこと等から、前年同期比2億10百万円減益の9億12百万円となりました。

経常利益

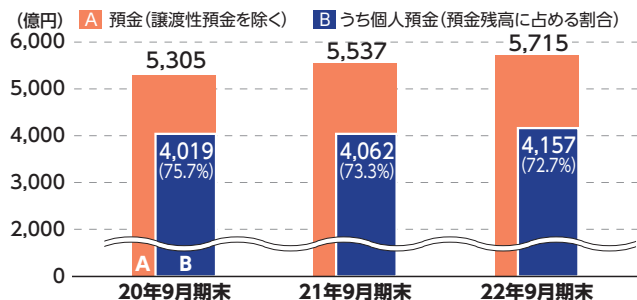
経常利益は、不良債権処理額が減少したものの、業務純益が減益となったことに加え、株式等売却益が減少したこと等から、前年同期比22百万円減益の5億57百万円となりました。

中間(当期)純利益

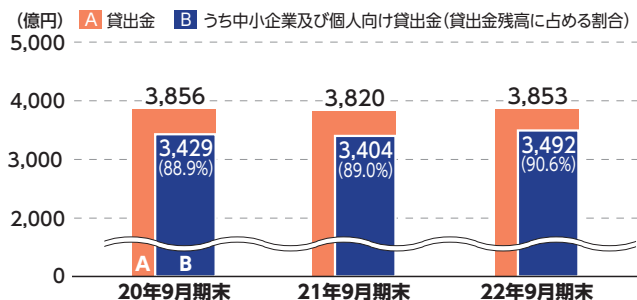
中間純利益は、特別利益に貸倒引当金戻入益を計上したこと等から、前年同期比89百万円増益の3億31百万円となりました。

預金、貸出金、有価証券の状況

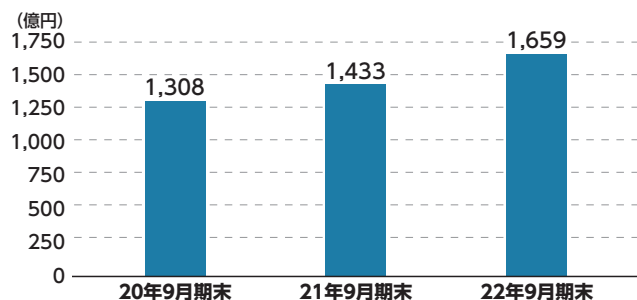
預金残高の推移(単体)



貸出金残高の推移(単体)



有価証券残高の推移(単体)



預金

預金は、資金調達のコアとなる個人預金が増加したことに加え、法人預金も増加したことから、前年同期末比178億円増加して5,715億円となりました。

貸出金

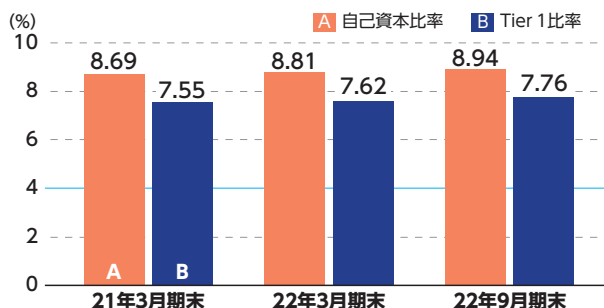
貸出金は、地元企業を中心とした新規取引の拡大や個人のお客さまの住宅ローンをはじめとした資金ニーズにお応えするため積極的な営業活動に努めました結果、前年同期末比33億円増加して3,853億円となりました。

有価証券

有価証券は、引き続き資金調達が好調であったため、国債等の債券を中心に投資を行ったことから、前年同期末比226億円増加して1,659億円となりました。

自己資本比率 **8.94%** 国内基準（4%以上）を大きく上回っています。

自己資本比率・Tier 1比率(単体)



平成22年9月期末の自己資本比率は、平成22年3月期末比0.13ポイント上昇の8.94%となり、最低所要自己資本比率（国内基準）の4%を十分に上回る水準を維持しています。また、自己資本の質を見るうえで特に重要だといわれているTier1比率（中核的自己資本比率）も7.76%と十分な水準にあります。

用語解説

- 1.自己資本比率とは** 銀行の貸出等のリスク資産等（リスク・アセット等）に対する自己資本額の割合です。一般的にこの比率が高いほどリスク等に対する備えが充実していることを示すため、銀行の健全性を表す重要指標の一つになっています。なお、当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は、国内基準（4%）を維持することが義務づけられています。
- 2.Tier1比率とは** 資本金や利益剰余金などの基本的項目（Tier1）のみから算出される自己資本比率です。

格付け **A-** 安全性について高い評価を受けています。

当行は、格付けについて公正で権威ある日本格付研究所からA-格付を取得しており、安全性について高い評価を受けております。（平成22年3月12日現在）

用語解説

- 格付けとは** 一般的に企業が発行する債券や銀行預金の元金・利息支払いの安全度を示す指標で、このランクが上位に位置するほど安全性が高いとされています。
 ※ A AからBまでの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとしてプラス（+）やマイナス（-）の符号による区分があり、一般的にB B B（-）以上が「投資適格等級」といわれています。

有価証券評価損益

有価証券(その他有価証券で時価のあるもの)の評価損益(単体)
 (単位:百万円)

平成22年9月30日	評価損益	評価益	評価損
株式	1,747	2,145	398
債券	786	965	178
外国証券	△232	179	411
その他	3	17	14
合計	2,304	3,308	1,004

有価証券評価損益（その他有価証券で時価のあるもの）は、評価益が33億8百万円、評価損が10億4百万円となり、評価益と評価損を通算した評価益は23億4百万円となりました。

用語解説

- 有価証券評価損益とは** 有価証券の簿価と基準日現在の時価等との差額を評価損益といい、この評価損益は、有価証券を時価で売却した場合に発生が見込まれる損益といえます。一般的には含み益や含み損といわれることもあります。

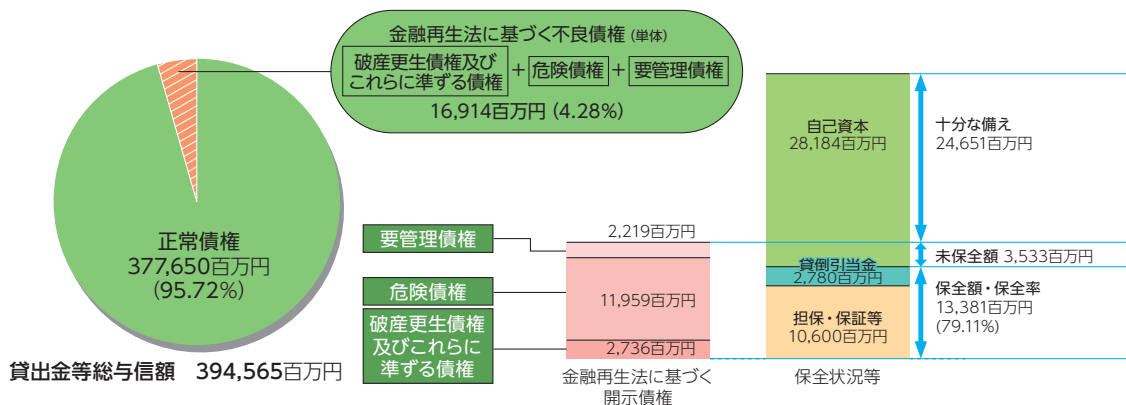
不良債権

4.28%

金融再生法に基づく貸出金等の総与信額は3,945億65百万円となり、そのうち回収に懸念のない正常債権は3,776億50百万円で95.72%を占めております。

一方、不良債権は169億14百万円（総与信の4.28%）となり、前年同期末の151億7百万円（総与信の3.86%）に比べ18億7百万円増加しました。また、この不良債権の79.11%（133億81百万円）は、担保・保証等や引当金で保全されています。残りの35億33百万円につきましては、お取引先の経営状態から直ちに引当を要するものではありませんが、仮に貸倒が発生した場合でも、当行の自己資本比率算定上の自己資本額（Tier1+Tier2）は281億84百万円あることから、引当について十分な備えがあります。このことから当行の財務内容の健全性をご理解いただけるものと存じます。

今後も皆さま方の資金需要にお応えしながらも、審査・信用リスク管理を徹底して、貸出債権等の健全性確保に努めてまいります。



●金融再生法開示債権の保全状況 (単体)

単位：百万円

平成22年9月30日	破産更生債権等	危険債権	要管理債権	合計
開示債権額 (A)	2,736	11,959	2,219	16,914
担保・保証等による保全額 (B)	2,416	7,277	906	10,600
対象債権に対する貸倒引当金 (C)	319	2,237	223	2,780
保全額 (D) = (B) + (C)	2,736	9,515	1,129	13,381
開示額に対する保全率 (D)/(A)	100.00%	79.56%	50.90%	79.11%
担保・保証等による保全がない額 (E) = (A) - (B)	319	4,681	1,312	6,314
引当率 (C)/(E)	100.00%	47.79%	17.02%	44.03%

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

用語解説

1.破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは

破産、会社更生、再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

2.危険債権とは

債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権。

3.要管理債権とは

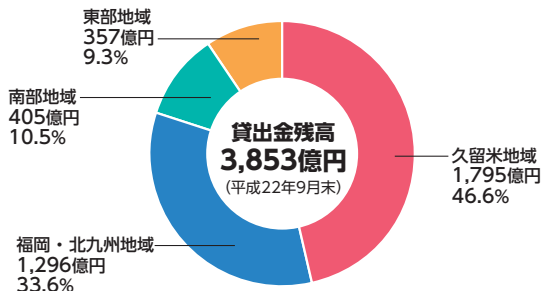
3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

4.正常債権とは

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記1.から3.までに掲げる債権以外のものに区分される債権。

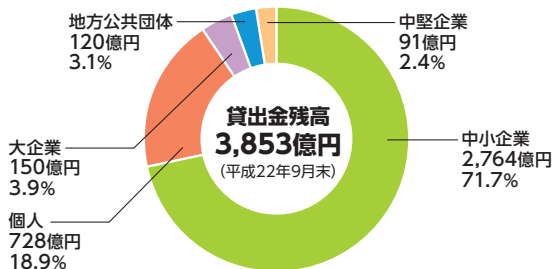
皆さまとのお取引状況<融資>

地域別貸出金残高、構成比率



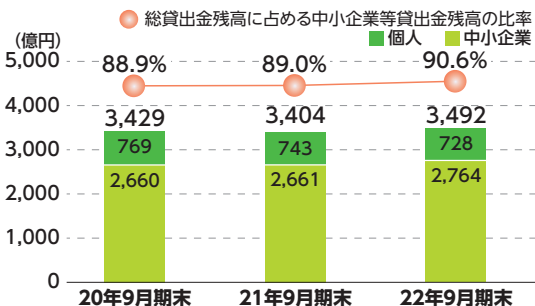
当行が地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行設立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。

中小企業等貸出金残高、構成比率



当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心とした貸出を行っており、今後もこの方針を変更することなく、お客さまのニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイムリーに提供してまいります。

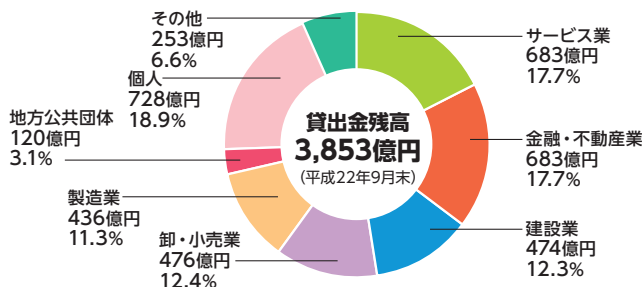
中小企業等貸出金残高、比率の推移



中小企業等貸出金残高、比率の推移

中小企業および個人の方に対する貸出金の残高は、前年同期末比88億円増加し、3,492億円となりました。総貸出金に占める中小企業等貸出金残高の割合は、90.6%（中小企業71.7%、個人18.9%）と引き続き高い割合を維持しています。

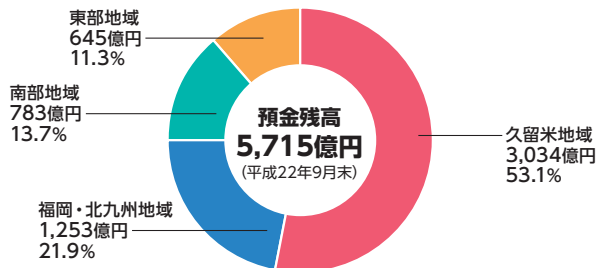
業種別貸出金残高、構成比率



当行は、リスク管理の面等から地方公共団体や個人以外では一定の業種に偏ることなく各業種に概ね均等に貸出を行っております。

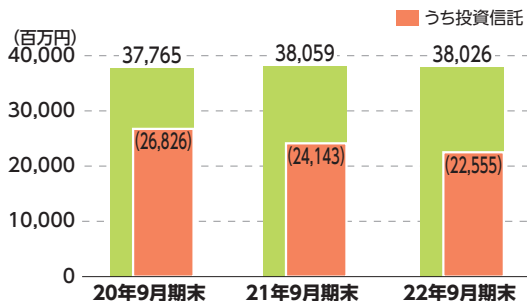
皆さまとお取引状況〈預金・預り資産〉

地域別預金残高、構成比率



当行は、地域に根差した金融機関として、設立以来地域の皆さまからのご信頼をいただき、預金は個人預金を中心に順調に増加しております。今後もお客様のニーズにあった魅力ある金融商品の提供に努めてまいります。

個人預り資産残高の推移



個人預り資産残高

当行は、お客様の多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債等を取扱っております。個人預り資産は前年同期比33百万円減少して380億26百万円となりました。

※個人預り資産＝投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債の合計

地域金融機関としての役割

地元企業や個人事業主の皆さまの発展・育成を応援し、地域経済の活性化に貢献します。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援への取組み



第5回「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」表彰式

地元のバイオベンチャー企業を育成・支援するため、「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」を創設するなど、創業・新事業展開支援に取り組んでおります。(p13参照)

(2) 経営改善・事業再生支援への取組み

融資部内に経営サポート室を新設し、お客様の属する業界動向や個々の企業特性など多面的な検討を通じた、経営改善・事業再生支援に取り組んでおります。

また事業再生および組織再編等を支援し、企業価値向上を図ることを主な目的とする地域特化型ファンド「九州BOLEROファンド」への出資を行っております。

(3) 金融円滑化への取組み

「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律（中小企業金融円滑化法）」を踏まえ、中小企業のお客さまや住宅ローンご利用のお客さまからの返済条件の変更などに関するご相談・お申込に真摯に対応するために、各営業店に「金融円滑化ご相談窓口」を設置するとともに、本部内に「金融円滑化推進委員会」を設置し、金融円滑化の管理、推進に向けた態勢の強化を図っております。

(4) 事業承継支援への取組み

ソリューション事業部を中心に、後継者に対する株式移転等のプランニングに積極的に取り組むとともに、独立行政法人中小企業基盤整備機構の機能を活用した九州初の地域特化型事業承継ファンドである「九州ブリッジファンド」へ出資を行っております。

2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底

事業価値を見極める能力の向上



行内塾

担保および個人保証に過度に依存することなく、お客様の経営実態をよりきめ細かく把握したうえで、企業の存続性や成長性および将来性等を重視したご融資の提供に取り組んでおります。また、お客様の事業価値を適切に見極めること

のできる行員の「目利き能力」向上のために、先輩から後輩に知識や経験を伝承する「行内塾」をはじめとした多面的な研修等を行っております。

3. 持続可能な地域経済への貢献

(1) 「ちくぎん成長基盤支援ファンド」の創設

地域における成長基盤分野の発展を促すため「ちくぎん成長基盤支援ファンド」を創設し、対象事業者への融資に取り組んでおります。(p13参照)

(2) 広域商談会の開催



平成22年度久留米広域商談会

地元企業のビジネス機会の拡大を支援するため、九州の各地銀と共同で、さまざまな広域商談会を開催しております。(p13参照)

(3) 各種無料相談会の開催

お客様のさまざまなニーズやご相談にお応えするために、「法律相談会」「年金相談会」「経営相談会」を定期的に開催しており、それぞれご好評をいただいております。(p11参照)

地域への各種支援活動の状況

当行は、銀行業務を通じた地域経済への貢献のほか、地域社会の一員として地域の発展を願い、さまざまな社会貢献活動を積極的に展開しております。

1. 青少年スポーツ活動の支援

当行は青少年の健全な育成を願って「ちくぎん杯少年サッカー大会」を平成5年より毎年開催しております。年々充実した大会となっており、平成22年度の第18回大会には福岡県内各地から、32チーム（小学生約600名）が出場し、2日間にわたる熱戦を繰り広げました。



第18回 ちくぎん杯少年サッカー大会

2. 各種講演会の開催

地域の皆さまへの情報サービスの一環として「福岡政行先生チャリティ講演会」「九州経済白書説明会」等を毎年開催し、ご好評をいただいております。

3. 地域の講演会への講師の派遣

地域の学校やロータリークラブ、講演会・会議などへ役職員を講師として派遣し、銀行業務や金融情勢等についての講義を行い、地域の皆さまへの金融経済に関する情報提供に努めております。



大学で講義する佐藤頭取

4. 地域行事への積極参加



くるめ水の祭典

当行は、地域社会の一員として毎年「くるめ水の祭典」や地域のお祭りなどのさまざまなイベントに役職員が積極的に参加し、地域の皆さまとのふれあいを大切にしております。

5. 環境保全・美化活動

(1) 全行員一斉「地域貢献清掃活動」の実施

当行の創立50周年を機に、平成14年10月より当行の基本理念である「地域社会へのご奉仕」を実践するために、全行員による店舗周辺の道路や公園などのボランティア清掃活動を行っております。

(2) 地域の美化運動への積極参加

地域環境の美化のために、「都心部道路美化キャンペーン」「筑後川河川敷美化ノーポイ運動」などの地域の美化運動に役職員が積極的に参加し、地域と一体となった活動を続けております。

(3) 「ちくぎんふるさとエコ定期」の発売

当行は環境保護活動の一環として「ちくぎんふるさとエコ定期」を発売し、当行から「財団法人福岡県水源の森基金・緑の募金」へ52万円を寄付致しました。

6. 「小さな親切運動」の推進

当行はくるめ「小さな親切」運動の会（会長 井手英＝当行取締役会長）を、昭和58年7月の同会の発足以来、全行で支援しています。全役職員が会員となって環境保全や美化運動、イベントなどに積極的に参加し、平成5年からは当行内に事務局を設置して明るく住みよい街づくりの推進に取り組んでいます。



「小さな親切」作文コンクール表彰式



平成22年度定期総会



法人のお客さま

資金ニーズにお応えする充実した融資商品

地元企業や個人事業主の皆さまの資金ニーズに積極的にお応えするため、さまざまな商品を取りそろえております。

(平成22年9月30日現在)

種 類	ご融資金額	ご返済期間	特 色	担保等	
事業者用ローン	事業者カードローン	1,000万円以内	2年（自動更新）	限度内で繰り返し利用できます。	保証協会
	ビジネスローン	5,000万円以内	3年以内	法人または個人事業主の方が対象となります。	不要
	アグリビジネスローン	500万円以内	5年以内	当行と株式会社日本政策金融公庫が協調してご融資いたします。	不要
	クイックローン	5,000万円以内	1年以内	スピード回答、無担保でご融資、事業性資金にご利用いただけます。	不要

インターネットバンキング
(ちくぎんビジネスWeb)

オフィスにいながら残高照会や振込がご利用いただけます。



ちくぎんビジネスカード

各種の経費のお支払いにご利用でき、事務の合理化と経費の削減をはかることができます。出張時の交通費や宿泊費のお支払い、ETCカードのご利用、携帯電話・プロバイダーへのお支払い等幅広くご利用いただけます。



ご相談サービス

「金融のホームドクター」を目指している当行は、各種相談会の開催、相談コーナー等の充実に努めております。

(平成22年9月30日現在)

種 類	ご 相 談 サ ー ビ ス の 内 容
ちくぎん 経営相談会	経営改善、経営革新などに前向きに取り組んでおられる経営者の方々の事業の順調な発展、成長を支援するために中小企業診断士が経営の診断助言を行います。 (お問合せ：お近くの本店・各支店)
ちくぎん 法律相談会	地域に密着した金融機関のサービスの一環として、無料の「法律相談会」を開催いたしております。専門の弁護士がわかりやすくていねいにお答えします。 (お問合せ：お近くの本店・各支店)
ちくぎん 年金相談会	毎月第3水曜日に本店営業部で「年金相談会」を開催いたしております。年金に関するさまざまなご相談を社会保険労務士がわかりやすくご説明いたします。 (お問合せ：お近くの本店・各支店)
ちくぎん テレホンセンター	フリーダイヤルによるローンの仮申込、ご相談を受付けております。また、定期預金の満期のご案内も行っております。受付時間は午前9時～午後8時までです。(土・日・祝日は除きます。) ☎ 0120-86-7980
ちくぎん ご相談コーナー	本店営業部では、夜8時までご融資（住宅ローン、事業資金等）や資産運用などのご相談を承っております。 TEL 0942-32-5600



個人のお客さま

ライフステージに合わせた各種ローン商品

個人のお客さまのより豊かで充実した明日のために、ライフステージに合わせた各種ローンを取りそろえております。(平成22年9月30日現在)

	種 類	ご融資金額	ご返済期間	特 色
 カードローン	ミニカードローン	50万円以内	3年（自動更新）	極度額の範囲内で自由にお借入れ、ご返済ができます。
	Myポケットカードローン	90万円以内	1年（自動更新）	極度額の範囲内で自由にお借入れができます。
   目的型ローン	NEWエクセルローン	500万円以内	10年以内	おつかいみち自由なローンです。借換にもご利用いただけます。
	マイカーローン	500万円以内	8年以内	車の購入や車検費用等のローンです。
	教育ローン	500万円以内	10年6か月以内	在学期間中は返済を据置できます。
	リフォームローン	500万円以内	10年以内	自宅のリフォーム資金にご利用いただけます。
	子育て支援ローン	50万円以内	5年以内	子育てに関する費用や育児休業中の生活資金にご利用いただけます。
 住宅ローン	住まいる住宅ローン	6,000万円以内	35年以内	変動金利型、固定金利選択型をお選びいただけます。 ※3大疾病保障特約付住宅ローンも取扱っております。

環境配慮型商品やサービス

当行は環境に配慮した商品やサービスを通して環境保護に貢献できる銀行を目指しています。(平成22年9月30日現在)

商 品	内 容
マイカーローン・金利サービス	ハイブリッド車を購入の方を対象にローン金利を割引いたします。
リフォームローン・金利サービス	太陽光発電機を購入・設置される方を対象にローン金利を割引いたします。
住まいる住宅ローン・金利サービス	オール電化住宅やガスを使った省エネ住宅を対象にローン金利を割引いたします。

便利なインターネットサービス

インターネット・モバイルバンキング（ちくぎんCnet）

パソコンまたは携帯電話から残高照会や振込がご利用いただけます。



多機能な『ちくぎんマルチナカード』

ICキャッシュカードとクレジットカード機能が一体となった多機能カードです。付帯サービスとしてケータイクレジットiDやETCカードもご利用いただける便利なカードです。



※各種商品・サービスの詳細につきましては窓口へお問合せください。

「筑邦銀行経営内容説明会」の開催

(平成22年7月～8月)

当行は平成14年より毎年お取引先・株主等を対象として「筑邦銀行経営内容説明会」をIR活動の一環として開催しております。本年も各地区全5会場に頭取はじめ役員が出席し、過去最高の延べ669名のお客さまにご参加いただきました。この説明会はお客さまに当行の事業内容をより一層ご理解いただくことを目的に開催しておりますが、「他行にない経営内容説明会であり今後も続けてほしい」等ご好評をいただいております。当行は本説明会でいただいたご意見を事業運営の参考とさせていただくとともに、今後もさらに積極的な情報開示に努めてまいります。



佐藤頭取による経営内容の説明

「久留米広域商談会」の開催

(平成22年9月)

当行、佐賀銀行および十八銀行が共同で設立した「北部九州ビジネスマッチング協議会」は久留米市との共催で「久留米広域商談会」を開催しました。本商談会は地場企業の受注機会の拡大や製造業の企業誘致の促進など、地域企業の活性化をはかることを目的としており、今年で5回目の開催となります。昨年までは1日だけの開催でしたが今回は商談の機会を増やすために2日間での開催となりました。発注側は建設用機械製造など26企業、受注側には福岡、佐賀、長崎の3県から延べ110社が参加し活発な商談が行われました。



平成22年度久留米広域商談会
(久留米リサーチ・パーク)

店舗外自動サービスコーナー（ATM）の新規開設

(平成22年9月)

当行はお客さまの利便性向上のため、佐賀県三養基郡みやき町の「ポートピアみやき」内に店舗外ATMコーナー（名称：「ポートピアみやき出張所」）を新規開設いたしました。当行はこれからもお客さまへのサービス向上のため店舗外ATMコーナーの新設・見直し等を進めてまいります。



ポートピアみやき出張所

第5回「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」表彰

(平成22年10月)

「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」は地元の優れたバイオベンチャー企業へ贈るもので、平成18年に創設しました。当行は本大賞によりバイオベンチャー企業の育成を支援し、地域経済の活性化に貢献したいと考えております。第5回の大賞は地元特産の柿に着目し、未利用柿を活用した食品素材の大量生産方法および機能性食品の開発に取り組んでいる企業を表彰いたしました。



第5回「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」表彰式

「ちくぎん成長基盤支援ファンド」を創設

(平成22年9月)

日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給（新貸出制度）」の趣旨に基づき、地域において成長基盤強化に資するため「ちくぎん成長基盤支援ファンド」を創設しました。当行は本ファンドの創設により、地元の成長分野に向けた貸出をより一層強化し地域経済の発展に貢献したいと考えております。

※取扱総額100億円、取扱期間：平成22年9月10日～平成24年3月30日、融資対象は法人または個人事業主の皆さま。
※詳細は営業店窓口へお問合わせください。

反社会的勢力との関係遮断に向けた取組み強化

当行は反社会的勢力との関係遮断に向けた取組み強化のため、平成22年4月1日に銀行取引約定書、当座勘定規定、普通預金規定等の流動性預金規定および貸金庫規定に暴力団排除条項を導入し、平成22年10月1日に各種定期性預金規定についても暴力団排除条項を導入しました。

暴力団排除条項とは、借主や預金者等が暴力団等の反社会的勢力であることが判明した場合に、当行の判断で契約を解約させていただくことを定めた条項です。

改定後の新規定^(※)は、改定前よりお取引いただいているお客さまに対しても適用されます。

この取扱は、政府が制定した「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」（平成19年6月19日 犯罪対策閣僚会議幹事会申合せ）、福岡県暴力団排除条例を踏まえたものです。

（※）銀行取引約定書は、平成22年4月1日以降、新規・変更契約を締結されたお客さまに対して暴力団排除条項が適用されます。

キャッシュカード犯罪被害にあわないために

キャッシュカードの暗証番号は大丈夫ですか？

- 暗証番号を「生年月日」、「電話番号」、「住所の番地」および「自動車のナンバー」など他人に類推されやすい番号にすると大変危険です。もし、このような番号をご使用になっていて被害にあわれた場合、補償が減額されることがありますので、至急変更されるようお願いいたします。
また、暗証番号をカードに書き込んだり、メモと一緒に保管していたりすると、被害にあわれた場合に補償を受けられませんのでご注意ください。
- 銀行員を装って電話をかけ、「暗証番号を変更する」などといって、暗証番号を聞きだそうとする犯罪が発生しています。当行行員がお客さまに暗証番号をお聞きすることはありません。また、キャッシュカードはどんなに短時間であっても他人に預けたりするのは大変危険ですのでご注意ください。

通帳・印鑑・キャッシュカードの保管にご注意ください！

- 通帳・印鑑・キャッシュカードは別々に、厳重に保管されるようお願いいたします。また、運転免許証や保険証などご本人であることを示す公的書類も通帳などとは別に保管されることをお勧めします。
- 通帳の記帳はできるだけ頻繁に行い、不審な取引がないかを確認してください。
- 万一、通帳・印鑑・キャッシュカードのいずれかが一つでも紛失された場合は、すぐにお取引店へご連絡ください。早朝・夜間および休日についてはATMサービスセンターにご連絡ください。

キャッシュカード・通帳等の紛失・盗難のご連絡先

	受付時間帯	連絡先	連絡先電話番号
平日	8:45～17:00	お取引店またはお近くの筑邦銀行	[店舗・ATMのご案内] (裏表紙) をご覧ください。
	17:00～翌日8:45	ATMサービスセンター	
土・日・祝	24時間受付		

⚠️ 振り込み詐欺にご注意ください！

電話や文書等で相手を騙し、お金を振り込ませる「振り込み詐欺」が多発しています。ご家族等になりすまし、事件や交通事故の示談金等の名目で現金を騙し取る「オレオレ詐欺」、税務署や社会保険事務所等を使う「還付金詐欺」、そのほか「架空請求詐欺」、「融資保証金詐欺」など手口が巧妙化していますのでご注意ください。

- お振込みをする前に、もう一度ご家族等に確認してください。
- 税務署等の公的機関が電話によりATMの操作を指示し、還付を行うことはありません。
- 身に覚えの無い請求があった場合は、安易に振込みを行わないようにしてください。
- 融資を前提に「保証金」等を要求されたらご注意ください。
- 不審に思われるような場合には最寄りの消費生活センターにご相談ください。
- 万が一被害にあわれたら、至急、警察とお取引店にお届けください。

警察官や銀行関係者が「キャッシュカードを預かる」「暗証番号を聞く」ことは絶対にありません。

※「振り込み詐欺被害者救済法」の施行により、詐欺等犯罪に利用された口座を凍結し、残高が1,000円以上の場合は、被害額の割合に応じて被害者に返還できることになりました。

第87期中 中間連結貸借対照表 (単位：百万円)

(平成22年9月30日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	20,169	預金	570,341
コールローン及び買入手形	23,000	譲渡性預金	1,370
買入金銭債権	201	借入金	6,465
商品有価証券	280	その他負債	3,702
有価証券	165,984	退職給付引当金	1,625
貸出金	380,992	役員退職慰労引当金	380
外国為替	1,013	偶発損失引当金	172
リース債権及びリース投資資産	7,811	再評価に係る繰延税金負債	1,752
その他資産	6,793	支払承諾	8,443
有形固定資産	9,914	負債の部合計	594,252
無形固定資産	2,322	(純資産の部)	
繰延税金資産	3,758	資本金	8,000
支払承諾見返	8,443	資本剰余金	5,759
貸倒引当金	△5,521	利益剰余金	11,207
		自己株式	△76
		株主資本合計	24,890
		その他有価証券評価差額金	1,384
		土地再評価差額金	2,112
		評価・換算差額等合計	3,496
		少数株主持分	2,525
		純資産の部合計	30,912
資産の部合計	625,165	負債及び純資産の部合計	625,165

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第87期中 中間連結損益計算書 (単位：百万円)

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

科目	金額
経常収益	8,754
資金運用収益	5,236
（うち貸出金利息）	(4,241)
（うち有価証券利息配当金）	(854)
役員取引等収益	823
その他業務収益	2,617
その他経常収益	76
経常費用	8,073
資金調達費用	378
（うち預金利息）	(331)
役員取引等費用	276
その他業務費用	2,386
営業経費	4,635
その他経常費用	396
経常利益	681
特別利益	244
特別損失	149
税金等調整前中間純利益	775
法人税、住民税及び事業税	13
法人税等調整額	379
法人税等合計	393
少数株主損益調整前中間純利益	382
少数株主利益	47
中間純利益	334

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第87期中 中間連結株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
株主資本		自己株式		評価・換算差額等		少数株主持分	
資本金		前期末残高	△75	その他有価証券評価差額金		前期末残高	2,480
前期末残高	8,000	当中間期変動額		前期末残高	1,205	当中間期変動額	
当中間期変動額		自己株式の取得	△2	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	178	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	45
当中間期変動額合計	—	自己株式の処分	0	当中間期変動額合計	178	当中間期変動額合計	45
当中間期末残高	8,000	当中間期変動額合計	△1	当中間期末残高	1,384	当中間期末残高	2,525
資本剰余金		当中間期末残高	△76	土地再評価差額金		純資産合計	
前期末残高	5,759	株主資本合計		前期末残高	2,150	前期末残高	30,511
当中間期変動額		前期末残高	24,674	当中間期変動額		当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—	当中間期変動額		株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△38	剰余金の配当	△155
当中間期末残高	5,759	剰余金の配当	△155	当中間期変動額合計	△38	中間純利益	334
利益剰余金		中間純利益	334	当中間期末残高	2,112	自己株式の取得	△2
前期末残高	10,990	自己株式の取得	△2	評価・換算差額等合計		自己株式の処分	0
当中間期変動額		自己株式の処分	0	前期末残高	3,355	土地再評価差額金の取崩	38
剰余金の配当	△155	土地再評価差額金の取崩	38	当中間期変動額		株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	185
中間純利益	334	当中間期変動額合計	215	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	140	当中間期変動額合計	401
自己株式の処分	△0	当中間期変動額合計	215	当中間期変動額合計	140	当中間期末残高	30,912
土地再評価差額金の取崩	38	当中間期末残高	24,890	当中間期末残高	3,496		
当中間期変動額合計	217						
当中間期末残高	11,207						

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第87期中 中間貸借対照表

(単位: 百万円)

(平成22年9月30日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	20,154	預金	571,589
コールローン	23,000	譲渡性預金	1,370
買入金銭債権	201	その他負債	3,062
商品有価証券	280	未払法人税等	39
有価証券	165,935	リース債務	667
貸出金	385,379	資産除去債務	65
外国為替	1,013	その他の負債	2,289
その他資産	1,364	退職給付引当金	1,603
有形固定資産	9,604	役員退職慰労引当金	355
無形固定資産	2,301	偶発損失引当金	172
繰延税金資産	3,413	再評価に係る繰延税金負債	1,752
支払承諾見返	8,443	支払承諾	8,443
貸倒引当金	△4,614	負債の部合計	588,349
		(純資産の部)	
		資本金	8,000
		資本剰余金	5,759
		資本準備金	5,759
		利益剰余金	10,949
		利益準備金	2,724
		その他利益剰余金	8,224
		別途積立金	7,400
		繰越利益剰余金	824
		自己株式	△76
		株主資本合計	24,631
		その他有価証券評価差額金	1,384
		土地再評価差額金	2,112
		評価・換算差額等合計	3,496
		純資産の部合計	28,127
資産の部合計	616,477	負債及び純資産の部合計	616,477

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第87期中 中間株主資本等変動計算書

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額
株主資本		その他利益剰余金	
資本金		別途積立金	
前期末残高	8,000	前期末残高	7,400
当中間期変動額	—	当中間期変動額	—
当中間期変動額合計	—	当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	8,000	当中間期末残高	7,400
資本剰余金		繰越利益剰余金	
資本準備金		前期末残高	609
前期末残高	5,759	当中間期変動額	
当中間期変動額	—	剰余金の配当	△ 155
当中間期変動額合計	—	中間純利益	331
当中間期末残高	5,759	自己株式の処分	△ 0
資本剰余金合計		土地再評価差額金の取崩	38
前期末残高	5,759	当中間期変動額合計	214
当中間期変動額	—	当中間期末残高	824
当中間期変動額合計	—	利益剰余金合計	
当中間期末残高	5,759	前期末残高	10,734
利益剰余金		当中間期変動額	
利益準備金		剰余金の配当	△ 155
前期末残高	2,724	中間純利益	331
当中間期変動額	—	自己株式の処分	△ 0
当中間期変動額合計	—	土地再評価差額金の取崩	38
当中間期末残高	2,724	当中間期変動額合計	214
		当中間期末残高	10,949

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第87期中 中間損益計算書

(単位: 百万円)

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

科目	金額
経常収益	6,184
資金運用収益	5,165
(うち貸出金利息)	(4,269)
(うち有価証券利息配当金)	(853)
役務取引等収益	796
その他業務収益	153
その他経常収益	68
経常費用	5,626
資金調達費用	346
(うち預金利息)	(331)
役務取引等費用	304
その他業務費用	58
営業経費	4,529
その他経常費用	386
経常利益	557
特別利益	277
特別損失	149
税引前中間純利益	684
法人税、住民税及び事業税	8
法人税等調整額	344
法人税等合計	352
中間純利益	331

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

科目	金額	科目	金額
自己株式		土地再評価差額金	
前期末残高	△ 75	前期末残高	2,150
当中間期変動額		当中間期変動額	
自己株式の取得	△ 2	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 38
自己株式の処分	0	当中間期変動額合計	△ 38
当中間期変動額合計	△ 1	当中間期末残高	2,112
当中間期末残高	△ 76	評価・換算差額等合計	
株主資本合計		前期末残高	3,355
前期末残高	24,418	当中間期変動額	
当中間期変動額		株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	140
剰余金の配当	△ 155	当中間期変動額合計	140
中間純利益	331	当中間期末残高	3,496
自己株式の取得	△ 2	純資産合計	
自己株式の処分	0	前期末残高	27,774
土地再評価差額金の取崩	38	当中間期変動額	
当中間期変動額合計	212	剰余金の配当	△ 155
当中間期末残高	24,631	中間純利益	331
評価・換算差額等		自己株式の取得	△ 2
その他有価証券評価差額金		自己株式の処分	0
前期末残高	1,205	土地再評価差額金の取崩	38
当中間期変動額		株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	140
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	178	当中間期変動額合計	353
当中間期変動額合計	178	当中間期末残高	28,127
当中間期末残高	1,384		

役員氏名

(平成22年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	井手 和 英
取締役頭取 (代表取締役)	佐藤 清一郎
常務取締役	空閑 重信
常務取締役	龍 憲一
常務取締役	田中 靖正
常務取締役	青木 正明
取締役	倉光 真治
取締役	東 暢昭
常勤監査役	吉田 茂
監査役	豊島 安治
監査役	上野 寛
監査役	薬師寺 道明

(注) 監査役上野寛、薬師寺道明の両名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

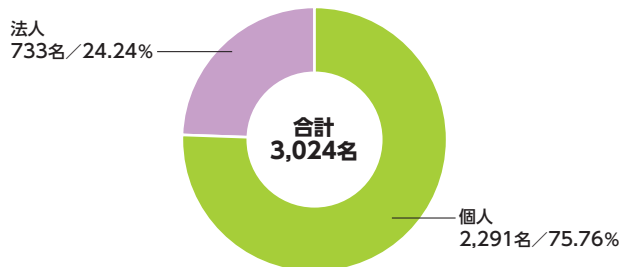
株式の状況

(平成22年9月30日現在)

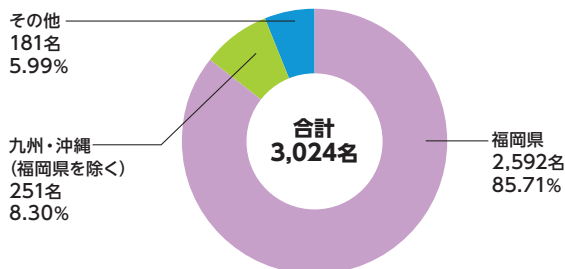
▶ 株式の所有数別分布表

区分	株主数 (名)	株主数 比率 (%)	株式数 (株)	株式数 比率 (%)
1,000,000株以上	11	0.36	17,792,419	28.47
500,000株以上	10	0.33	6,640,410	10.63
100,000株以上	64	2.12	14,790,360	23.67
50,000株以上	81	2.68	5,202,918	8.32
10,000株以上	697	23.05	12,664,627	20.27
5,000株以上	466	15.41	2,848,364	4.56
1,000株以上	1,120	37.04	2,340,312	3.74
1,000株未満	575	19.01	210,790	0.34
合 計	3,024	100.00	62,490,200	100.00

▶ 株式の所有者別分布状況



▶ 株主の地域別分布状況



- | | |
|--------------------------|---|
| 1.事業年度 | 毎年4月1日から翌年の3月31日まで |
| 2.期末配当金受領株主確定日 | 毎年3月31日 |
| 3.中間配当金受領株主確定日 | 毎年9月30日 |
| 4.定時株主総会 | 毎決算日後3か月以内に開催 |
| 5.株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 6.同 連 絡 先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料) |
| 7.上場証券取引所 | 証券会員制法人 福岡証券取引所 |
| 8.公 告 掲 載 紙 | 福岡市において発行する西日本新聞に掲載
決算公告については、下記のホームページに掲載しております。
・ホームページアドレス http://www.chikugin.co.jp/ |

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から一般口座への振替請求 ● 単元未満株式の買取（買増）請求 ● 住所・氏名等のご変更 ● 特別口座の残高照会 ● 配当金の受領方法の指定（※） 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>〈手続き書類のご請求方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ● インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/ </div>		

(※) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
● 上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

店舗・ATMのご案内

平成22年9月30日現在

番号	店名	電話番号
1	本店営業部	0942-32-5331
2	中央町支店	0942-33-9116
3	国道通支店	0942-33-8471
4	日吉町支店	0942-32-5261
5	くしはら支店	0942-39-3691
6	荒木支店	0942-26-3161
7	国分支店	0942-21-7131
8	高良内支店	0942-43-2333
9	長門石支店	0942-38-5731
10	津福支店	0942-34-6511
11	上津支店	0942-21-4681
12	南町支店	0942-21-4311
13	十三部支店	0942-43-3911
14	東合川支店	0942-44-5500
15	大善寺支店	0942-26-8971
16	田主丸支店	0943-72-2171
17	鳥栖支店(佐賀県)	0942-83-2801
18	八女支店	0943-23-3141
19	筑後支店	0942-53-2188
20	瀬高支店	0944-62-2143
21	柳川支店	0944-72-2131
22	大川支店	0944-87-2134
23	大牟田支店	0944-52-5271

番号	店名	電話番号
24	福岡支店	092-521-1451
25	赤坂門支店	092-761-6404
26	博多支店	092-411-7231
27	雑餉隈支店	092-581-2831
28	西新町支店	092-821-3331
29	名島支店	092-661-2811
30	姪浜支店	092-891-7561
31	警弥郷支店	092-572-3911
32	中尾支店	092-561-2231
33	大野支店	092-591-3111
34	春日支店	092-501-1531
35	二日市支店	092-922-6661
36	北九州支店	093-531-3631
37	黒崎支店	093-621-0631
38	小郡支店	0942-73-3211
39	甘木支店	0946-22-3920
40	吉井支店	0943-75-2101
41	杷木支店	0946-62-1125
42	日田支店(大分県)	0973-24-3171



店舗外自動サービスコーナー(ATM)

入金できる設備

- | | |
|----------------|-----------------|
| 西鉄久留米駅出張所 | 久留米市役所出張所 |
| 西鉄久留米駅前出張所 | あんくる夢市場久留米店出張所 |
| 一番街出張所 | サザンモール出張所 |
| 久留米六角堂広場出張所 | マックスパリュ北野店出張所 |
| 久留米大学病院1階出張所 | 山川出張所 |
| 久留米大学医療センター出張所 | ミスターマックス北茂安店出張所 |
| 久留米大学商学部出張所 | ゆめタウン八女出張所 |
| サンコー上津店出張所 | 柳川市役所出張所 |
| 鮮ど市場上津店出張所 | 西鉄福岡駅出張所 |
| 西鉄花畑駅出張所 | ソラリアプラザB1出張所 |
| 聖マリア病院出張所 | 明治屋太宰府店出張所 |
| スーパーモリナガ津福店出張所 | 筑紫野市役所出張所 |
| マックスパリュ榎原店出張所 | ゆめタウン筑紫野出張所 |
| スーパー大栄国分店出張所 | 小郡市役所出張所 |
| ゆめタウン久留米出張所 | D&D大刀洗店出張所 |
| 西鉄ストア宮ノ陣店出張所 | 朝倉市役所出張所 |
| JR久留米駅出張所 | ジャスコ甘木店出張所 |
| マックスパリュ大石町店出張所 | ポートピアみやき出張所 |
| 久留米駐屯地出張所 | |

※ JR久留米駅出張所は、九州新幹線工事に伴うJR久留米駅ビル工事のため一時間鎖閉いたしております。再開は平成23年3月頃を予定しております。

九州ATMネットワーク

提携金融機関10行のATM・CD 2,936か所 6,258台 (平成22年3月31日現在)



筑邦銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行、佐賀銀行、十八銀行、親和銀行、肥後銀行、大分銀行、宮崎銀行、鹿児島銀行のキャッシュカードをご利用のお客さまは、10行のATM・CDからのお引出しが手数料無料でご利用いただけます。

無料でご利用いただける時間 平日8:45~18:00

※上記時間以外のご利用には、別途時間外手数料が必要となります。お振込みの場合、所定のお振込手数料が別途必要となります。

※ご利用時間およびサービス内容は設置場所によって異なります。

※詳細は営業店窓口へお問合せいただくか、または当行ホームページをご覧ください。
(<http://www.chikugin.co.jp/>)



あなたのまちの
筑邦銀行

筑邦銀行総合企画部広報室
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1
TEL (0942) 32-5331 (代)

